

佐賀大学校友会では、兒玉浩明学長のもとで、校友会役員をはじめとする会員や佐賀大学同窓会と共に校友会組織の拡大と多くの学生への支援ができる体制づくりに取り組んでおります。

今回、第10回佐賀大学ホームカミングデーを開催するにあたり、参加者の皆様に学生の諸活動への支援及び校友間交流への支援の状況を報告し、多くの方に佐賀大学校友会の設置の趣旨や活動内容に御理解をいただきたく思っております。

本日は、令和元年度に校友会からの奨励金により海外の協定校へ留学した代表学生の報告会と、これまでの校友会の活動状況を報告いたします。

また、これまでの支援状況は、ホームページにて最新の情報を提供していますのでぜひ一度ご覧ください。

佐賀大学校友会ホームページ：URL <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/>



## 佐賀大学校友会ホームページ

### 概要

校友会会長挨拶  
校友会事業の概要  
校友会事業の内容  
校友会組織  
校友会会則  
English

### 情報

校友会会報  
支援状況報告  
お知らせ  
イベント

### 校友会会員

会費（納入方法）

### その他

佐賀大学同窓会  
お問い合わせ  
このサイトについて

皆様のご期待に沿えるような活動内容や情報発信ができるよう日々取り組んでいきたいと思っております。皆様からの校友会に対するご意見等お待ちしております。

佐賀大学校友会 事務局

## ～～ 奨励金受給者による報告 ～～

### 海外派遣奨励金受給者（令和元年度受給）

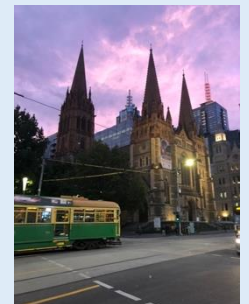
オーストラリア留学を振り返って

教育学部学校教育課程小中連携教育コース初等教育主専攻英語科 松本 音希子

留学先：オーストラリア ラトロープ大学

派遣期間：令和2年2月～令和2年11月

- 奨励金受給の用途・効果  
支援いただきました奨励金については、主に現地での生活費・寮費として使わせていただきました。オーストラリアの生活費は他の留学国に比べ高額なため、とても助かりました。ありがとうございます。
- 短期的な視点で一言  
コロナ禍でロックダウンにもなりましたが、留学先の大学では日本で学ぶことができなかった、メディアや教育に関することを深く学ぶことができました。さらに、実際にオーストラリアの多国籍文化を身を持って感じ、オーストラリアの良さにも気づくことができました。
- 長期的な視点で一言  
この交換留学で、最初は英語が通じない恐怖から現地の人たちと話すことに躊躇していましたが、その殻を自分の力で打ち破れるようになったり、英語力が向上したりと、留学前に比べて成長を感じることも多々ありました。また、ロックダウンという経験からも、物事を前向きに捉えられるようになったと思います。この経験をこれからの将来にも活かしたいです。
- 校友会の皆様へ  
大学入学当初からずっと交換留学をしたいと考えており、3年越しにようやく夢を叶えることができました。現地で実りある生活を送ることができたのも、校友会の皆様のおかげです。これからも、この経験を糧に頑張ります。本当にありがとうございました。



### 海外派遣奨励金受給者（令和元年度受給）

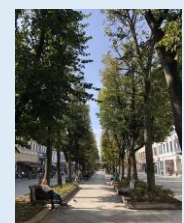
リトアニアでの留学を振り返って

理工学部機械システム工学科 栗原 航太郎

留学先：リトアニア ヴィタウタス・マグヌス大学

派遣期間：令和2年2月～令和2年12月

- 奨励金受給の用途・効果  
支援していただきました奨励金については、主にリトアニアに渡航する際の航空券の費用として使わせて頂きました。留学における費用の中でも大きな出費の一つであったため、とても助かりました。
- 短期的な視点で一言  
交換留学先の学校では、外国学部にも所属し、本学では受けられない授業を受講しました。また、日本文化サークルの方々と協力して日本文化ワークショップ(書道)を行い、1つの目標だった文化交流を行いました。留学を通して得たこと・学んだことを、これからの生活やこれから留学を目指す方たちに還元していきたいです。
- 長期的な視点で一言  
この交換留学では、英語力向上に加えて様々な国や文化の方と交流することでコミュニケーション力を向上することができました。そして、コロナ禍での留学生活から成長するためには自主性が欠かせないということに改めて感じました。これからは、この学びを就職後にも活かして、国際的なフィールドで活躍出来るように精進したいと思います。
- 校友会の皆様へ  
校友会の皆様が支援してくださったことで、より一層充実した留学生活を送ることができたと感じています。本当にありがとうございました。また、厳しい状況の中、滞在させていただいた事にも感謝致します。この交換留学での経験を糧に、飛躍していきたいと思っています。



～ 令和2年度の支援状況（学生支援） ～～

緊急支援奨学金（15件 765,000円）・・・修学継続が困難な学生の支援

教育学部学校教育課程3年	1名	経済学部経済学科2年	1名
経済学部経済法学科2年	1名	医学部医学科6年	1名
医学部医学科3年	1名	医学部看護学科2年	1名
理工学部数理科学科3年	1名	理工学部知能情報システム学科3年	1名
理工学部機能物質化学科4年	2名	理工学部理工学科2年	1名
理工学部理工学科1年	2名	農学部生命機能科学科4年	1名
大学院工学系研究科博士後期課程2年	1名		

国際交流奨励金（2件 59,598円）・・・学生の国際的な活動のための支援

大学院理工学研究科修士課程理工学専攻 中村圭助  
 派遣期間等：海外における研究会、共同研究（令和2年7月19日～令和2年7月24日）  
 派遣先：オンライン（デンマーク）

大学院理工学研究科修士課程理工学専攻 小嶋恒  
 派遣期間等：海外における研究会、共同研究（令和2年7月19日～令和2年7月24日）  
 派遣先：オンライン（デンマーク）

～～ 令和2年度（校友間交流） ～

校友間交流事業（海外版ホームカミングデー）

○佐賀大学オンライン海外版ホームカミングデー

開催日：令和3年3月20日（土）

概要：佐賀大学は2021年3月20日、オンラインで佐賀大学海外版ホームカミングデーを開催し、本学関係者及び元留学生・在学生等、6か国77名が参加した。佐賀大学海外版ホームカミングデーは、海外の協定校との連携強化および海外在住の卒業生と佐賀大学関係者とのネットワーク構築を目的として2012年から開催しており、今回で11回目の開催となる。はじめに、開会の挨拶では兒玉浩明学長から、本学は各国で大学間協定を締結して様々な分野で教育・研究交流を継続している点、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも本学が様々な支援を実施したことにより、留学生が学びを継続している点について紹介があった。続いて、寺本憲功国際担当理事による本学キャンパスについての紹介動画の上映や、中国・インドネシア・マレーシア・ベトナムの元留学生からの近況報告があり、参加者は大いに盛り上がった。また、各国分かれての歓談の場では、在校生・元留学生間で親交を深めた他、本学教員も加わり、元教え子との交流を図った。最後に、国際交流推進センター副センター長・三島伸雄教授より閉会の挨拶があり、別れ惜しみつつ再会を約し閉会となった。





## 校友間交流事業（ホームカミングデー）

### ○第9回佐賀大学ホームカミングデー

開催日：令和2年11月14日（土）

会場：佐賀大学工学部6号館

概要：全ての卒業生及び名誉教授を対象  
卒業生及び名誉教授を含む54名が参加

企画：大学の研究紹介

「会社を立ち上げる前と後の裏話

～クラウドファンディングやコンテストの本当の意味とは～」

講師 株式会社山城機巧 代表取締役社長 山城 佑太 氏

「研究成果の社会実装に向けた取り組み

～人工知能/情報サービス/フワットを例に～」

講師 工学部 中山 功一 准教授

学生支援事業奨励金受給者による報告会



佐賀大学校友会では、会員に  
なっていただけの方を募集しています！！

### 【問い合わせ先】

#### 佐賀大学校友会事務局

〒840-8502 佐賀市本庄町1(国立大学法人佐賀大学3階)

電話 0952-28-8390

(月曜日から金曜日 8:30～17:15 [祝日は除く])

ホームページURL [Http://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/](http://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/)

### 会費

- 正会員(個人) 20,000円(終身会員)  
2,000円(年会費) ※2万円に達した場合は、終身会員になります。
- 賛助会員(団体に限ります)  
1口 50,000円

### 払込方法

- 現金または郵便局振込にてお願いします。
  - ・現金の場合は、佐賀大学校友会事務局にて受領いたします。
  - ・郵便局の場合は 振替口座/01760-049425  
振替名義/佐賀大学校友会  
(振込料金は、校友会で負担いたします。)